

# 秦野市ごみ減量通信

第 15 号

平成22年10月30日発行

**発行** 秦野市清掃事業所資源化推進班（秦野市桜町1丁目3番2号） 電話：82-9619（直通）  
粗大ごみ・剪定枝戸別収集受付電話：82-0053（秦野市名古木 409 番地：清掃事業所内）  
E-mail：seisou@city.hadano.kanagawa.jp

市民の皆さんに、秦野市のごみの現状を知ってもらい、ごみ減量等の大切さを理解していただくため、『秦野市ごみ減量通信』を発行しています。

## 容器包装プラスチック・PETの品質について

みなさんが資源物収集の日に出して、リサイクルされている容器包装プラスチックやPETボトルの品質に、ランクがあるのをご存知ですか。

きれいに洗ってきちんと分別されている容器包装プラスチックは、衣類の原料や高炉還元剤に、同じくPETボトルは、卵パック、ボールペンなどにリサイクルされます。

ところが、汚れがある場合は、リサイクルできないため焼却処分され、また、びんや缶など異物が混入した場合は、リサイクルする作業員がケガをしたり機械が故障する原因になり危険です。

今年、本市の容器包装プラスチックとPETボトルの品質調査が行われ、容器包装プラスチックはAランク、PETボトルはBランクという結果になりました。

	ランク	分別度合／評点
容器包装プラスチック	A	93.85%
PETボトル	B	110点（満点150点）

分別などの度合いが国の基準を上回ると、リサイクルの推進に貢献したことに対して貢献度に応じたお金が市に支払われます。このお金は、ごみに関する事業などに使われます。

きれいに洗って、きちんと分別すると、リサイクルされて再び役立つ資源になるだけでなく、がんばった成果が返ってきます。



## 在宅医療廃棄物の処理方法について

家庭での医療処置に使用した、点滴パックやチューブは「プラ」マークのついているものでも、中身を洗うことが困難なため、可燃ごみの日に出してください。また、注射針等の鋭利な物は、必ず医療機関へ持ち込み、感染性廃棄物として処理してください。

# 可燃ごみの組成分析を行いました

可燃ごみの組成分析は、みなさんの家庭から出される可燃ごみに、どんなものが含まれているのかを分析する調査です。この調査により、可燃ごみに出してはいけないものが混じっていないか、可燃ごみを減らすために何をしたらよいのか、を知ることができます。

下の表は、今夏に実施した調査の結果です。

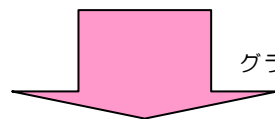
平均をみると、厨芥類（生ごみ）が43.99%と最も多く、次いで紙類20.61%、草木類15.16%となっています。

可燃ごみの約半分を占める生ごみは、水分が多いため、焼却に大きな負担となります。そこで、市では、生ごみ分別収集モデル事業や生ごみ処理機の購入費補助制度などを実施しています。生ごみをたい肥化し、畑や庭で利用することで、焼却ごみを減らせるだけでなく、焼却炉を長持ちさせ、CO<sub>2</sub>排出量を減らすことができます。

また、調査結果からは、金属類やプラスチック、紙製容器包装などが可燃ごみに混じっていることがわかります。分別を徹底していただくよう、あらためてお願いいたします。

単位：%

項目	商店地域	戸建住宅地域	市街地周辺地域	高層住宅地域	今夏の平均	13年度平均	17.18年度平均
紙類	19.99	18.58	20.82	23.06	20.61	26.55	26.14
繊維類	1.15	2.00	1.61	7.52	3.07	3.26	3.98
プラスチック類	6.37	8.34	13.60	11.99	10.08	10.08	8.79
厨芥類	36.50	44.34	57.08	37.91	43.99	47.48	48.49
草木類	28.88	23.66	2.00	6.22	15.16	9.02	7.71
その他可燃物	6.40	2.47	4.38	12.46	6.42	1.88	3.86
金属類	0.14	0.17	0.47	0.22	0.25	0.24	0.17
ビン類	0.00	0.00	0.00	0.15	0.04	0.09	0.06
その他	0.57	0.46	0.04	0.47	0.38	1.40	0.81
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00



グラフにすると、、、

